

第4回 大学人としての立ち位置（1月9日）

こんにちは、長崎大学人、河野茂です。

“プラネタリーヘルス（地球の健康）”という壮大なコンセプトを私は、
皆さんに提示しました。

いささか大きすぎるテーマと思う人も多いと思います。

しかし、大学人は高い理想を掲げ世界や地域をリードする気概が必要です。

わが長崎大学は、長い歴史の中で、戦後原子爆弾の被災など、様々な苦難を
各学部の先人達が乗り越えてきました。

今、ここで働いている我々も歴史を引き継いでいる責任があります。

長崎大学人は大学人のなかでも一歩先んじなければなりません。

あなたが、長崎大学の教員として、職員として、“プラネタリーヘルス（地球の健康）”
という大きなテーマを共通認識として持って頂き、心新たに仕事に挑んで
もらいたいと思います。

日本、あるいは世界の中で、長崎大学人は、高い理想を掲げ、果敢に挑戦するという
立ち位置なのです。

あなたは、またあなたの所属する部署は、今年、何に挑戦しますか？

その挑戦は何を意識しますか？

ぜひ、「プラネタリーヘルス（地球の健康）」を意識して挑戦してください。

ご意見をお待ちしております。